

# 認知症と高齢者虐待について

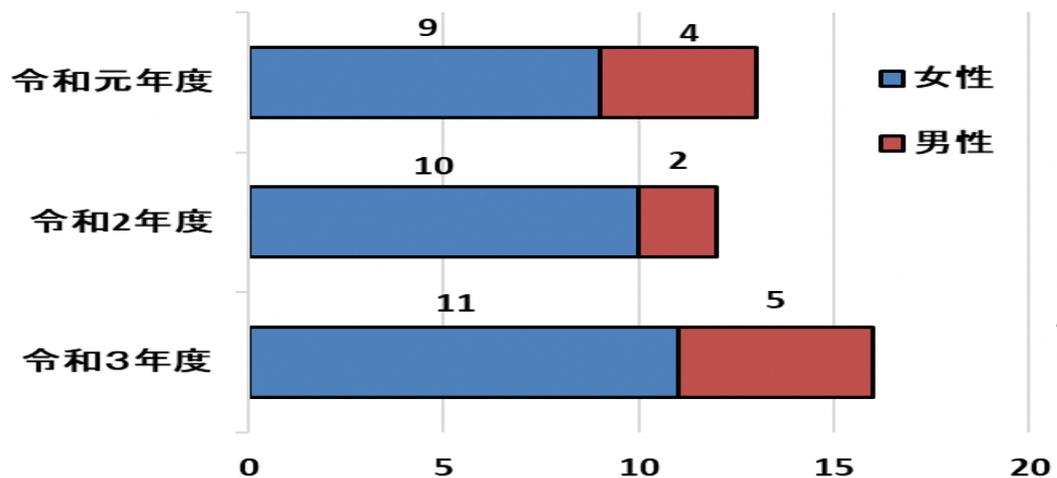


# 認知症と高齢者虐待の実態

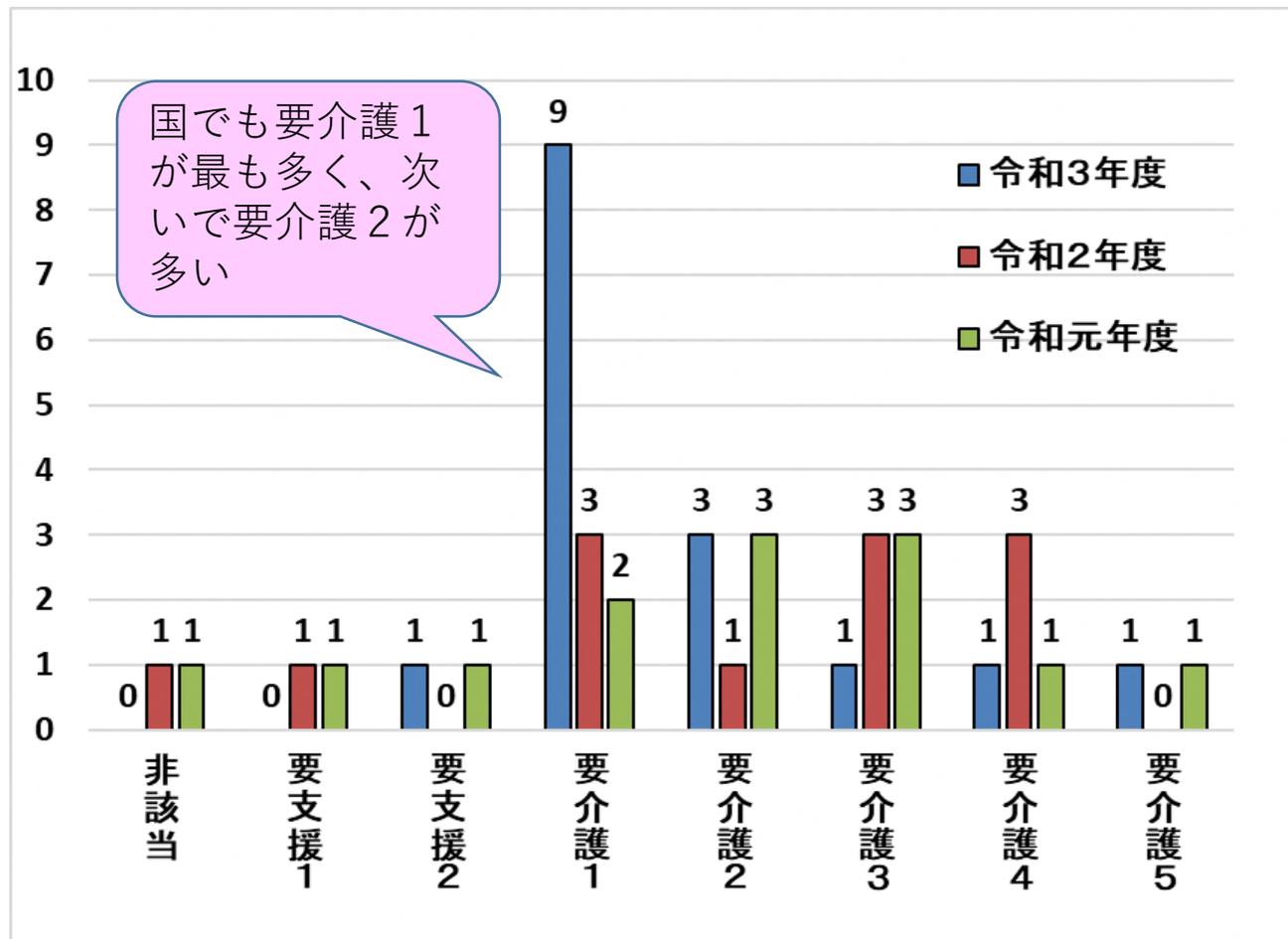
## 高齢者虐待の傾向

- 身体的自立度が低い  
(特に排泄介助が必要)
- 認知症 (特に動ける認知症の方)
- 女性 (母・妻)

＜虐待ありの判定を受けた高齢者の性別＞



＜虐待ありの判定を受けた高齢者の要介護度＞

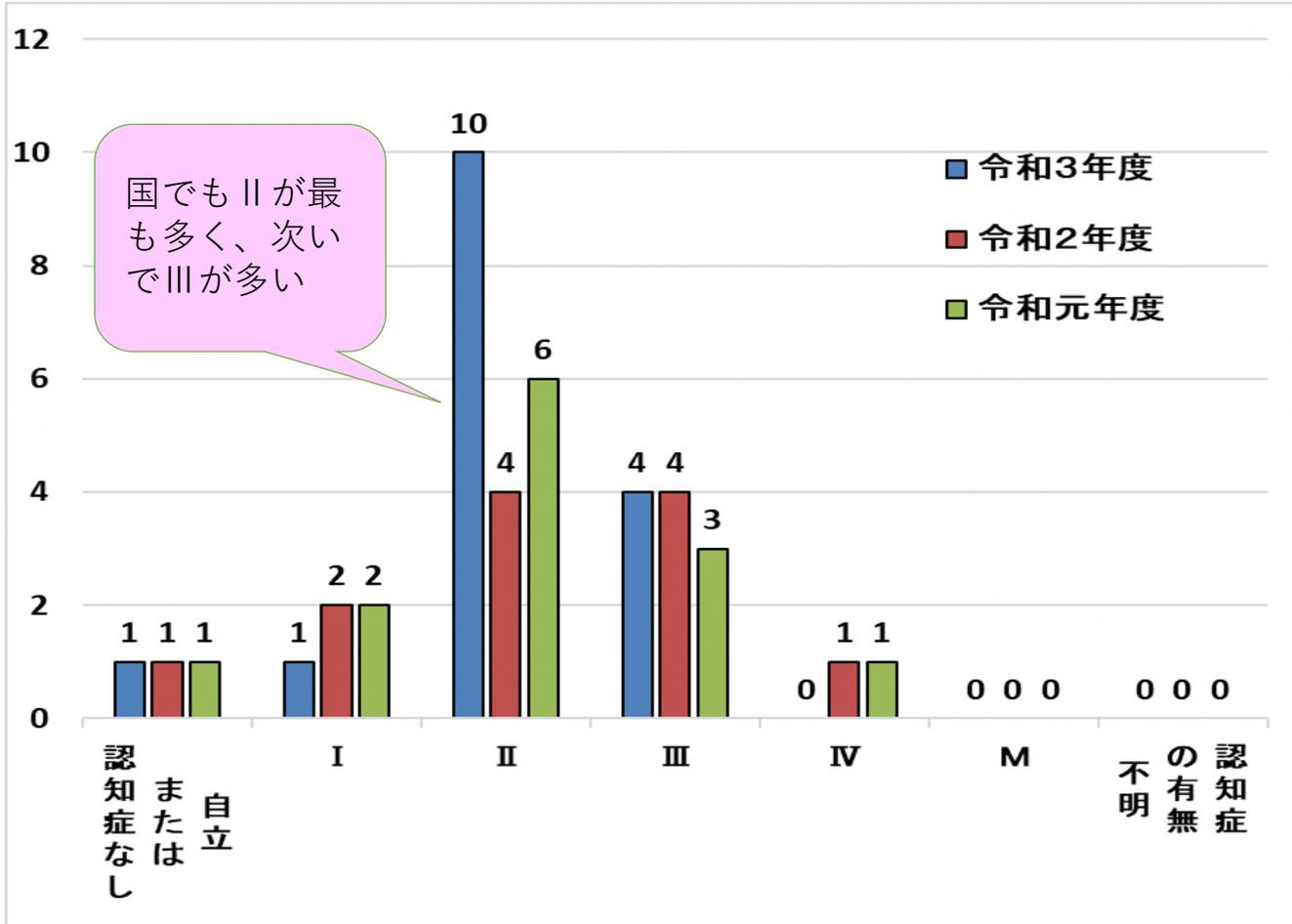


国でも要介護1  
が最も多く、次  
いで要介護2が  
多い

国でもR2年度男性24.7%  
に対し女性75.2%

# 認知症と高齢者虐待の実態

＜虐待ありの判定を受けた高齢者の認知症日常生活自立度＞



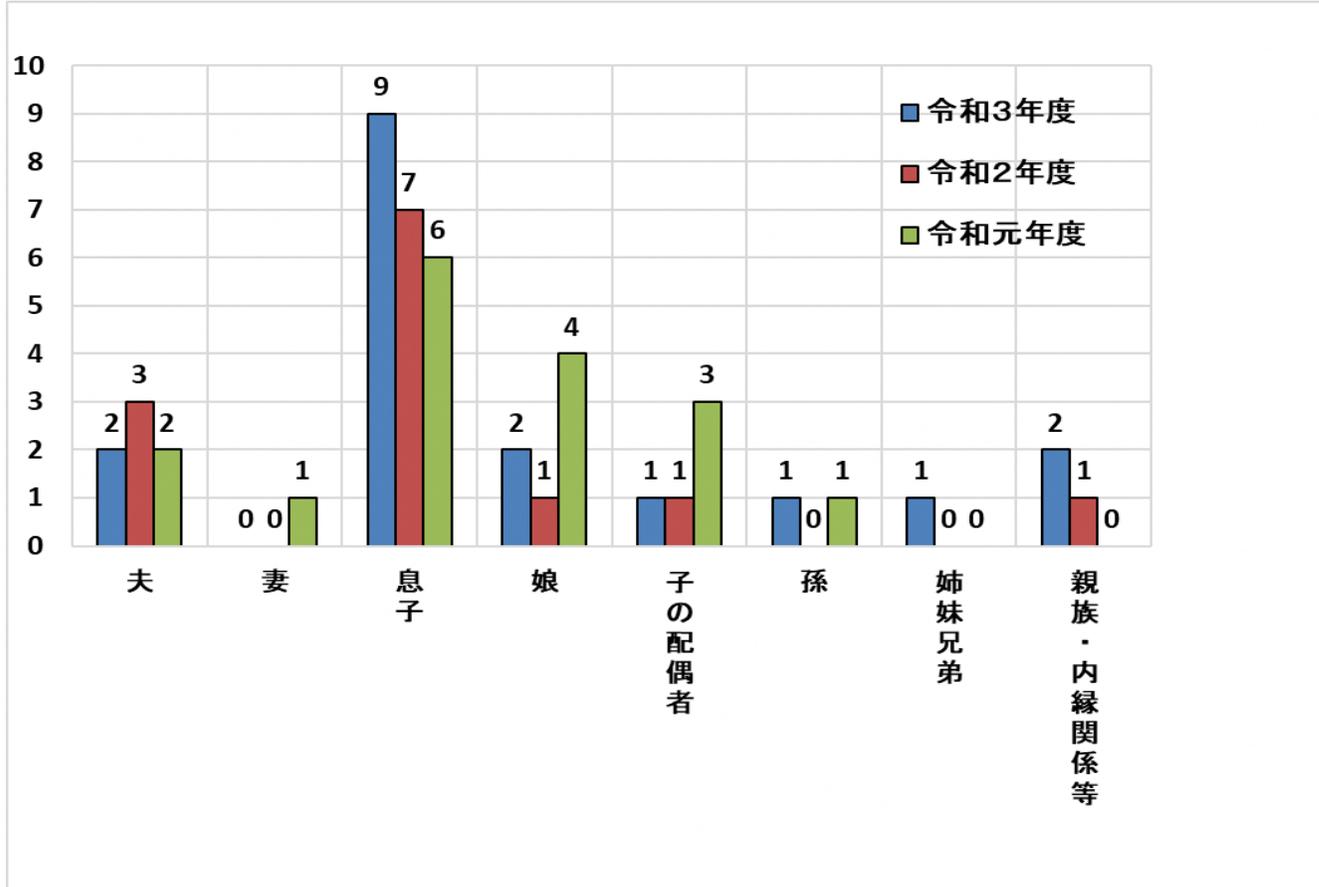
程度の差はあるが、虐待ありの判定を受けたケースのほとんどに認知症の症状がみられる。

＜認知症高齢者の日常生活自立度の判断基準一覧＞

ランク	判定基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内および社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
	IIa 家庭外で上記IIの状態が見られる。	たびたび道に迷う、買い物や事務、金銭管理などそれまでできていたことにミスが目立つ等
	IIb 家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応などひとりで留守番ができない等
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。	
	IIIa 日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便・排尿が上手にできない・時間がかかる、やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
	IIIb 夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIIIaに同じ
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

# 高齢者虐待が起こりやすいケース

## <高齢者と虐待者の関係(複数回答)>



## 虐待者

- 介護疲れ
- 臨機応変な対応が難しい性格
- 潔癖・完璧主義
- 相談相手・支えてくれる人がいない
- 介護に関する知識が不足している
- 無職又は低所得等の生活困窮者
- 疾患や障害がある
- 男性（息子・夫）



令和2年度、国では虐待者は、息子（39.9%）が最も多く、次いで夫（22.4%）、娘（17.8%）となっている。  
草津市でも割合の差はあるものの順位は同じになっている。

# 虐待が疑われる事例の特徴

- 不自然な痣がある
- 極端に痩せている
- 家から怒鳴り声や大きな物音が聞こえてくる
- 高齢者の身体や頭髪、衣服の汚染が顕著で異臭がする
- 介護が必要な状態であるが、介護サービスが導入されている様子がない
- 極端に生活を切り詰めており、家族が働いている様子がない
- 高齢者の表情が暗い
- 家族の声掛けがきつい
- 高齢者が家族からひどいことを言われたり、されたりすると訴えている
- 高齢者が家族に自分のお金を自由に使わせてもらえないと訴えている
- 気候や天候が悪くても、高齢者が長時間外にいる姿がしばしばみられる



# 過去にあった地域からの通報①

近所の人から「息子からの暴言が登校中の小学生にも聞こえている。今は言葉の暴力だけだが、あまりにひどいため、今後、何かが起こるんじゃないかと心配している。

息子は介護を頑張りすぎており、限界が来てるんじゃないかと思っている。他の近所の人達も心配している。」と電話があった。



## 過去にあった地域からの通報②



近所の人から「隣に老夫婦が住んでいるが、妻に対して夫がひどく叱責する声と暴力を振るっているような音、妻が謝っている声が聞こえてきて心配しています。」という内容のメールが届いた。

## 過去にあった地域からの通報③

近所の人から「自宅前で車椅子に乗っている妻の頭をはたいているのを見かけた。

先日、広報誌に載っていた虐待の記事と同じだったので、虐待ではないかと思って連絡しました。」と電話があった。



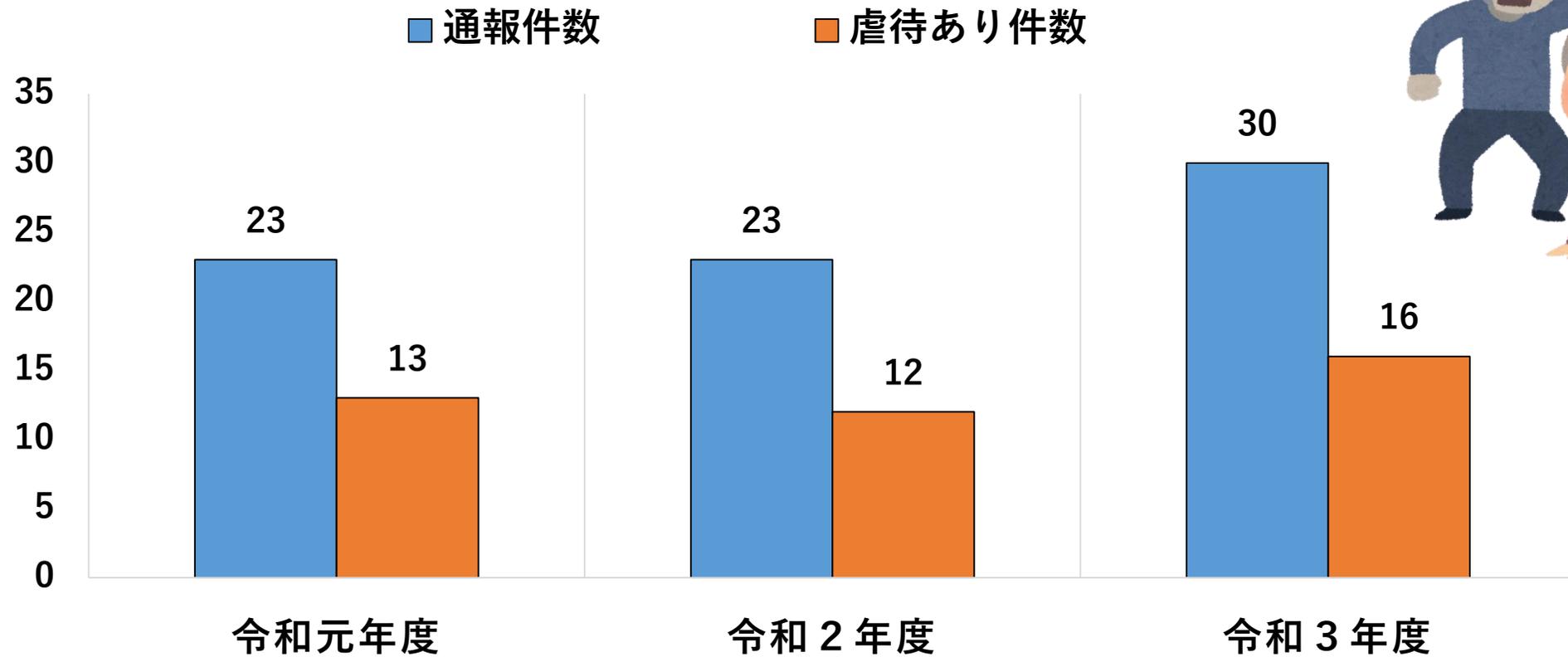
# 今後考えていくべき内容

- ・ 家族だけで介護を抱えこむと、いずれ限界がきてしまうため、地域で認知症の人とその家族を支えていく仕組みが必要。
- ・ 介護者の認知症に対する理解が進まず、虐待につながってしまうケースが多いことから認知症に対する理解を進めるための取組が必要。



# 草津市の通報件数と虐待あり件数

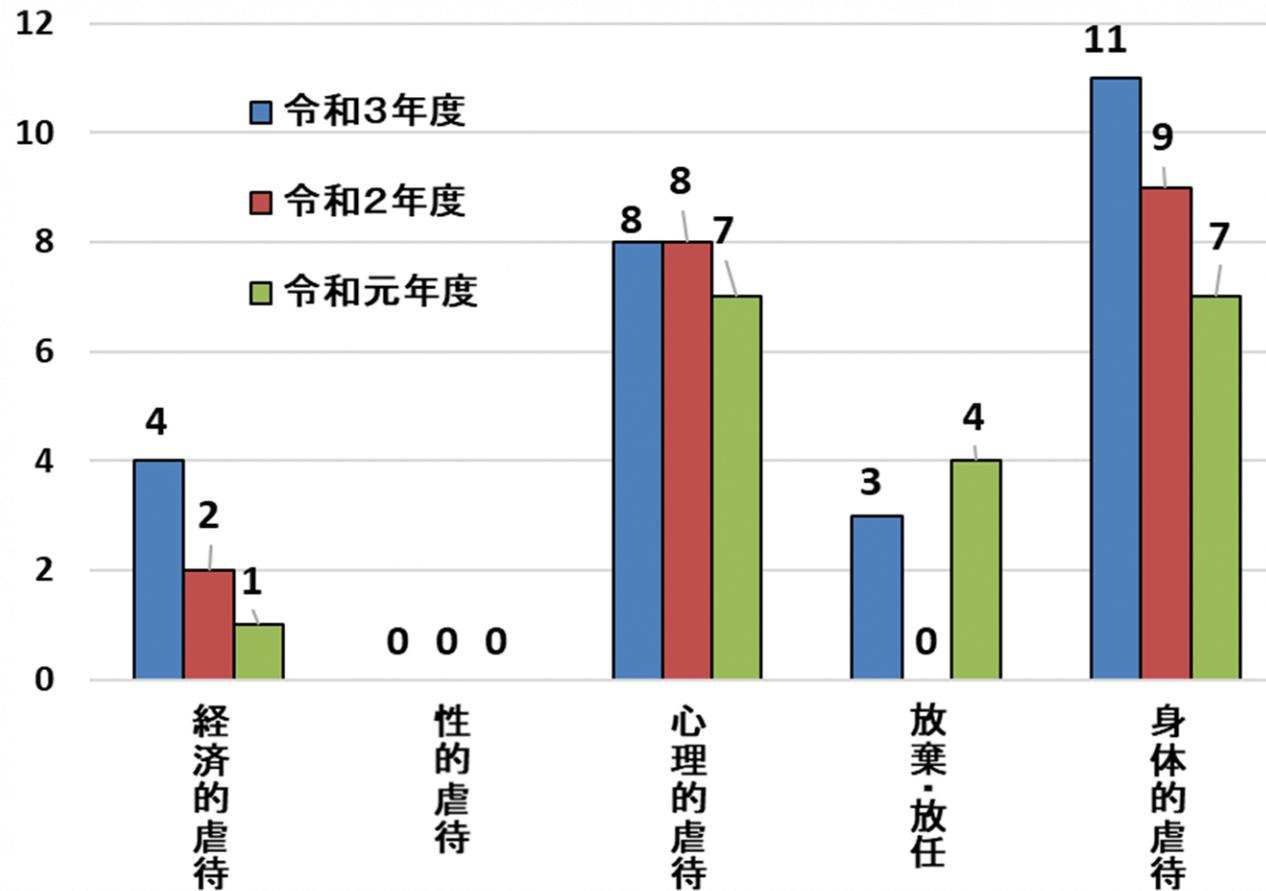
参 考



令和3年度は、通報件数、虐待ありの件数ともに増加したが、微増程度で推移している。

# 虐待の事実ありと判断した虐待の内訳（複数回答）

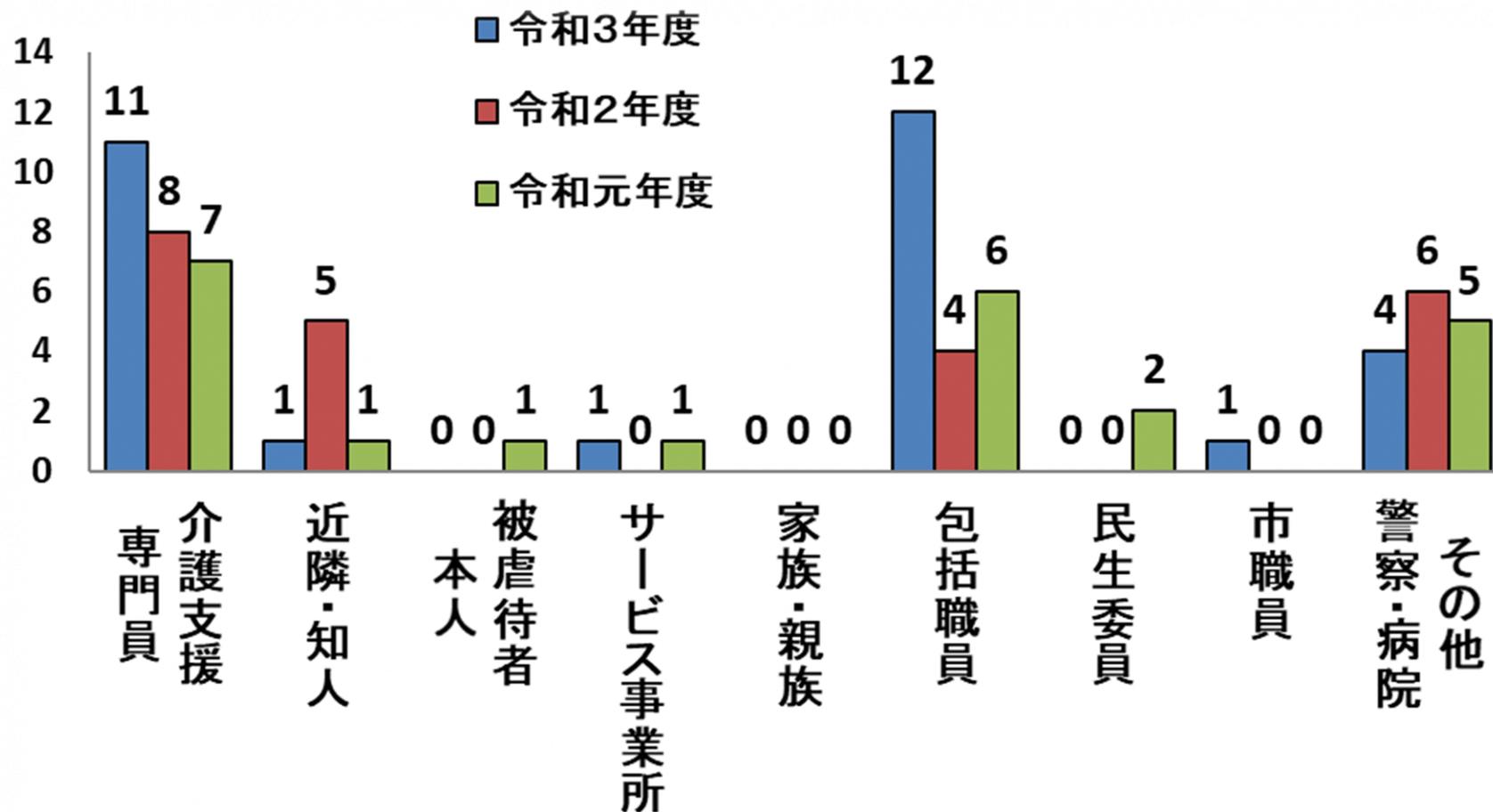
参考



令和2年度の高齢者虐待の内訳は、全国は、経済的虐待：14.6%、性的虐待：0.5%、心理的虐待：41.4%、放棄放任：18.7%、身体的虐待：68.2%であるが、草津市は、経済的虐待：10.5%、性的虐待：0%、心理的虐待：42.1%、放棄放任：0%、身体的虐待：47.4%となっている。

# 通 報 者

参 考



草津市では、介護支援専門員からの通報が1番多く、次いで地域包括支援センター職員が多いが、全国的にみると警察が最も多く、次いで介護支援専門員が多くなっている。